



エコアクション21

第65期 環境経営レポート

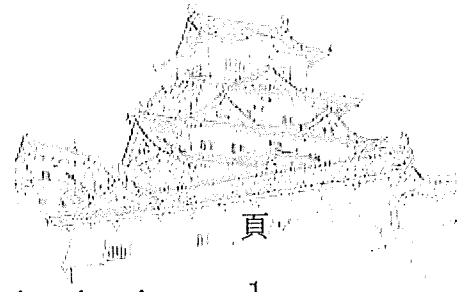


レポートの対象期間：第65期（2022年9月1日～2023年8月31日）
発行 日：2023年10月22日第10版（第1版 第57期）



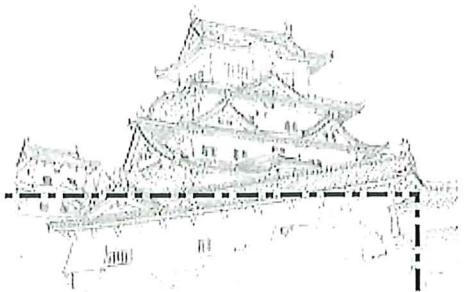
株式会社 ホリエ

目 次



	頁
1 . 環境経営方針	1
2 . 会社概要	2
3 . 認証・登録の対象範囲	3
4 . 主な環境負荷の実績	4
5 . 環境経営目標及びその実績	5
6 . 環境経営活動計画及び取組結果とその評価、次年度の環境経営計画 .	7
7 . 環境関連法規等の遵守状況の評価の結果	9
8 . 代表者による全体の評価と見直	10
9 . 環境活動の紹介	11

1. 環境経営方針



品質・環境方針

1. 顧客の信頼と満足を得て地域に貢献します。
2. 品質活動を通じ、環境負荷の低減を図り、地球環境保全の取組を推進します。
3. 品質活動と環境活動の有効性の継続的改善を行っていきます。

品質・環境目標

1. 建築部は、創意工夫を行い現場に役立てると共に、環境にやさしい施工を行い、目標の利益を達成します。
2. 土木部は、無事故・無災害で顧客の信頼を得ると共に、軽油の使用を管理し二酸化炭素の削減を推進し、目標の利益を達成します。
3. 総務部は、顧客管理を確実にして、その動向を常に把握すると共に、電気の使用を管理し二酸化炭素の削減を推進していきます。
4. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
5. 二酸化炭素排出量の削減を推進します。
6. 廃棄物の削減を推進します。
7. 建設現場等での建設リサイクル、再生資源の利用を推進します。
8. 水使用量の削減を推進します。
9. 化学物質の適正な管理を実施します。
10. 建設業協会主催の地域美化活動への参画を年1回行います。

本方針を全従業員に周知徹底します。

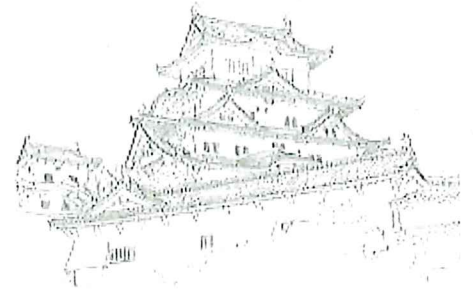
制定日： 2015年 5月 1日

改訂日： 2023年10月 1日

株式会社 ホリエ

代表取締役社長 堀江 一雄

2. 会社概要



創業 1953年3月1日

(1) 名称及び代表者名

商号 株式会社 ホリ工
代表取締役 堀江 一雄

(2) 所在地

本社 兵庫県姫路市野里上野町一丁目14番8号
姫路西事業所 兵庫県姫路市白鳥台三丁目7番8号
御国野資材倉庫 兵庫県姫路市御国野町国分寺178-3

(3) 環境管理責任者及び担当者の氏名と連絡先

責任者 常務取締役 堀江 脩 TEL: 079-223-7222
担当者 総務部 中川 路生 FAX: 079-282-0532
Email: kabhorie@nike.eonet.ne.jp

(4) 事業内容

土木工事業、建築工事業、とび・土工工事業、舗装工事業、造園工事業
許可番号 兵庫県 特-2 第450648号 許可年月日 令和3年1月18日
許可期限 令和8年2月27日

1級建築設計事務所

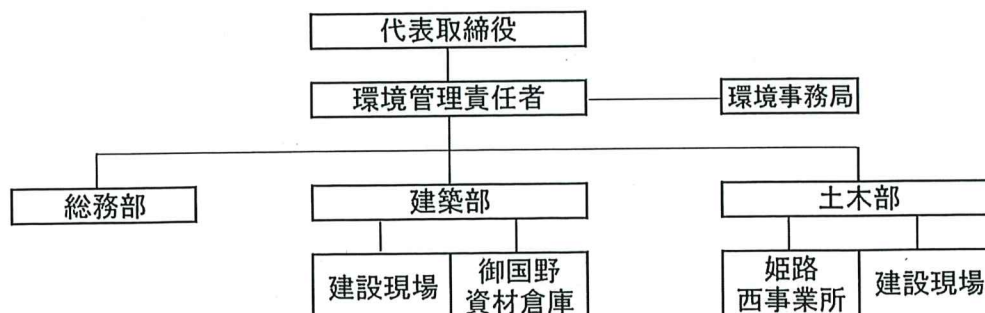
登録番号 (一財)兵庫県1級建築士事務所協会 第01A02760号
登録年月日 令和5年9月30日
有効期限 令和10年9月29日

(5) 事業の規模

会社設立 昭和34年4月1日
資本金 2,080万円
売上高 第62期 (2019年9月1日～2020年8月31日) 985百万円
第63期 (2020年9月1日～2021年8月31日) 808百万円
第64期 (2021年9月1日～2022年8月31日) 1,131百万円
第65期 (2022年9月1日～2023年8月31日) 1,324百万円

各事業所の規模	本 社		御国野倉庫	土木部 姫路西事業所		合計
	本社社屋	本社倉庫		事務所	倉庫	
従業員	14名	無人	無人	18名		32名
延べ床面積	579m ²	232m ²	308m ²	85m ²	441m ²	1,645m ²
敷地面積	1,756m ²		1,165m ²	1,009m ²		3,930m ²

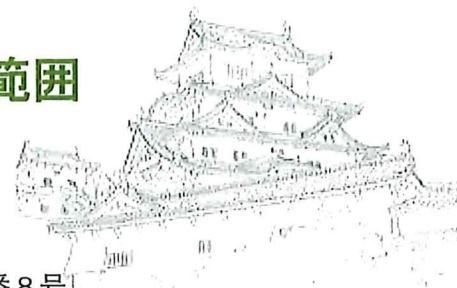
(6) エコアクション21の実施体制



(7) 事業年度

9月～翌年8月

3. 認証・登録の対象範囲



登録組織名： 株式会社ホリエ

対象事業所： 本 社 ：兵庫県姫路市野里上野町一丁目14番8号

姫路西事業所 ：兵庫県姫路市白鳥台三丁目7番8号

御国野資材倉庫 ：兵庫県姫路市御国野町国分寺178-3

活 動： 土木工事業、建築工事業、とび・土工工事業、舗装工事業、造園工事業

4. 主な環境負荷の実績



項 目	単位	第60期	第61期	第62期	第63期	第64期 (基準期)	第65期 (当期末)
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	148,018	179,230	153,522	149,545	179,870	151,650
電力	kWh	27,754	30,200	26,105	25,259	30,200	27,874
ガソリン	L	22,933	21,938	21,508	21,100	21,928	20,317
軽油	L	32,115	44,824	35,957	34,956	44,823	36,184
灯油	L	92	0	93	91	267	313
LPG	kg	92.7	21.9	230.1	187.4	21.9	24.2
廃棄物排出量							
一般廃棄物	kg	661	942	934	988	1,252	837
産業廃棄物	t	2,524	425	1,230	4,436	331	327
水使用量	m ³	152	158	233	217	235	170
排出に影響する出来事		8月より西 事業所が 新事務所 に移転。9 名採用	今期から 本社と西 事業所の2 箇所での 評価を実 施	売上は前 期と大差 がなかつ たが、西 事業所のウ ェイトが増加	CO2の排出 量は目標 値とほぼ 同じとな ったが、事業 量増によ り次期は 注意が必要である	軽油は、 売上に比 して増加 している。 産業廃 棄物は、大 幅に減少 した。	灯油は、 本社ス トープの 増加によ るもの。

5. 環境経営目標及びその実績



(1) 中期目標

※組織の変更・拡大により基準年度を第61期とした。

年 度		第64期 (基準期)	第65期 (当期)	第66期	第67期	第68期	第69期
I. 二酸化炭素 排出量削減	目標kg-CO ₂	178,717	176,372	171,104	169,322	167,540	165,757
	対基準		△2.28%	△3.59%	△4.27%	△5.27%	△6.27%
	電力使用量削減 第61期0.334 第63期以降0.318	目標kWh 30,200 kg-CO ₂ 10,087	29,647 9,428	28,992 9,219	28,690 9,123	28,388 9,027	28,086 8,931
	対基準		△3%	△4%	△5%	△6%	△7%
ガソリン 使用量削減 2.32166	目標 L	21,938	21,718	21,060	20,841	20,621	20,402
	kg-CO ₂	50,932	50,422	48,894	48,385	47,876	47,366
	対基準		△3%	△4%	△5%	△6%	△7%
軽油 使用量削減 2.62434	目標 L	44,824	44,375	43,031	42,582	42,134	41,686
	kg-CO ₂	117,633	116,456	112,927	111,751	110,575	109,398
	対基準		△3%	△4%	△5%	△6%	△7%
灯油 使用量削減 2.49193	目標 L	0	0	0	0	0	0
	kg-CO ₂	0	0	0	0	0	0
	対基準		△3%	△4%	△5%	△6%	△7%
液化石油ガス 使用量削減 3.00196	目標 kg	21.9	21.7	21.1	20.8	20.6	20.4
	kg-CO ₂	66	65	63	63	62	61
	対基準		△3%	△4%	△5%	△6%	△7%
II. 廃棄物の削減							
一般廃棄物 の削減	目標 kg	942	914	905	895	886	876
	対基準		△3%	△4%	△5%	△6%	△7%
産業廃棄物の 適正管理	実績 t	425	327.2	—	—	—	—
	対基準		適正管理	適正管理			
混合廃棄物の 削減	実績 t	71	24.85	—	—	—	—
	対基準		適正管理	適正管理			
建設リサイクル 率の向上（実績）	排出量 t	2,524	327.2	適正管理			
	リサイクル量 t	2,443	256.5	リサイクル率＝リサイクル量／排出量			
	リサイクル率%	96.8%	78.4%				
	対基準		90%以上	90%以上			
III. 水使用量削減	目標 m	217	213	208	206	204	202
	対基準		△3%	△4%	△5%	△6%	△7%
IV. 環境に配慮した 施工の推進	目標 件	下記による	下記による	下記による			
	対基準	4	4以上	4以上			
	実績値件		7	—	—	—	—
	評価			—	—	—	—

※ 電力の二酸化炭素量の削減は、関西電力㈱の電力排出係数が2022年度は0.331と公表された。よって、第65期の目標値は0.331を使用して算出する。
なお、第64期は0.351、第65期以降は0.331を使用した。

電力排出係数

第61期 2018年度	第62期 2019年度	第63期 2020年度	第64期 2021年度	第65期 2022年度
0.334	0.318	0.318	0.351	0.331
		2021.1.7発表	2022.2.8発表	2023.2.1発表

(2) 第65期の実績

※組織の変更・拡大により基準年度を第61期とした。

年 度 項 目		第61期 基準年度	第65期の実績 (2022年9月～2023年8月)			
			目標	実績	達成度	評価
I. 二酸化炭素 排出量削減	kg-CO ₂	178,717	176,372	151,650	116.3%	○
	対基準		△1.05%			
電力使用量 削減	目標kWh	30,200	29,647	20,317		
	kg-CO ₂	10,087	9,428	6,461	146%	○
第61期0.334 第62期0.318	対基準		△2%			
ガソリン 使用量削減	L	21,938	21,718	20,317		
	kg-CO ₂	50,932	50,422	47,170	107%	○
2.32166	対基準		△2%			
軽油 使用量削減	L	44,824	44,375	36,184		
	kg-CO ₂	117,633	116,456	94,959	123%	○
2.62434	対基準		△2%			
灯油 使用量削減	L	0	0	313		
	kg-CO ₂	0	0	779	0%	×
2.49193	対基準		△2%			
液化石油ガス 使用量削減	kg	22	22	24,219		
	kg-CO ₂	66	65	72,704	90%	×
3.00196	対基準		△1%			
II. 廃棄物の削減						
一般廃棄物 の削減	kg	942	905	837	108%	○
	対基準		△2%			
産業廃棄物 の適正管理	t	425	—	327	適正管理	○
	対基準		適正管理			
混合廃棄物 の節減	t	71	—	24.85	適正管理	○
	対基準		適正管理			
建設リサイクル率 の向上	%	96.8	90.0	78.4%	87.1%	×
	対基準		適正管理			
III. 水使用量削減	m ³	217	213	170	125%	○
	対基準		△2%			
IV. 環境配慮工法の施工	件	4	4	7	175%	○
	対基準		100%以上			

注1) 達成度欄にて、削減を目指す場合は、達成度＝目標÷実績×100%、増加を目指す場合は、達成度＝実績÷目標×100%

注2) 評価欄にて、○：達成（100%以上）、△：やや未達成（95%～100%未満）、×：未達成（95%未満）

注3) 環境に配慮した施工とは、騒音、振動、粉じん、道路の汚れ、水の汚れなどを防止し、廃棄物適正処理・使用資材の削減・3Rに努め、付近住民の生活に配慮した工事を言う。

6. 環境経営計画及び取組結果と その評価、次年度の環境経営計画



◎よくできた ○まずまずできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	評価結果と次年度の環境経営計画
二酸化炭素排出量の削減 (目標達成)		
(下記の通り)	○	(下記の通り)
電力使用量の削減 (目標達成)		
・空調温度の適正化 (冷房28℃暖房20℃)	○	新型コロナウイルスの予防対策の有効処置として3密を避け、換気が推奨されされた。一日中窓を開放し、空調の使用を最小にした。しかし今期も猛暑で外気温が35℃を超える日が多くあり、仕事の効率から考えると25℃は効率が上がり、結果として残業が少なくなった。
・照明器具の省エネ化	◎	全社の照明器具をLEDに替えた。また、トイレ等の照明スイッチを感知式に替えた。
・不要照明の消灯	◎	外出時のデスク上の不要照明の消灯を徹底した。昼休みや外出時など照明不使用時にはしっかりと対応している。
ガソリン使用量の削減 (目標達成)		
・アイドリングストップ	◎	基本アイドリングはしていない。
・急加速・急停車の防止	◎	「無事故無違反運動チャレンジ100」運動に毎年参加しており、安全運転を推進している。
・効率的な移動	○	高速道路保全工事は、現場への経路は決められており、無駄な遠回りの走行はない。
軽油使用量の削減 (目標達成)		
・作業中の車両のエンジンストップ	○	弁当の腐敗防止と熱中症対策、使用材料の適正温度管理のための冷暖房以外の車両は、エンジンストップを原則としている。
・アイドリングストップ	○	アイドリングストップを実施している。
・空気圧、オイル等の点検	○	給油時に月1回以上実施するように徹底している。また、車両管理日報を乗車時に記載している。職員の中で前職が車両整備士が2名在職しており、車両点検を担当させ、終礼後車両を点検している。
・軽油発電機の使用の節減	○	現場条件が許す限り、仮設電力設置により軽油発電機の使用をやめている。
・燃費効率の良い車両の切替	○	事業量の増加に伴う軽油の削減は、燃費効率の良い車や化石燃料車以外の車に切替しかなく、これを推進するためリース等を検討していく。
灯油使用量の削減 (目標未達成)		
・現場事務所の灯油型暖房器具使用の削減	◎	現場事務所で灯油ストーブの使用は原則しない。 本社での灯油ストーブの使用を削減する。
・寒中コンクリート養生の灯油暖房器具の削減	○	養生マットの工夫等や暖房器具の使用時間の削減を計画し実行している。
液化石油ガス使用量の削減 (目標未達成)		
・工事での効率の良い使用	○	使用量の大半はアスファルト舗装の工事用であり、今期から舗装工事の施工は原則実施していない。今後は事業所内の使用に限られる。 厨房のプロパンガスの適切使用を徹底する。

取り組み計画	達成状況	評価結果と次年度の環境経営計画
<u>一般廃棄物の削減</u> (目標達成)		
・ペーパレス化の推進	○	新型コロナウイルス対策で定例会議をウェブ会議に変え、必要資料はサーバーの共有フォルダーに置き、それを必要とする者のみダウンロードすることとした。原則各種社内会議でのペーパレス化で資料配布はしない方針である。メーカーパンフレットは、Webで閲覧する。
・分別の徹底	○	木切れ・石膏ボード・混合廃棄物・鉄くず・コンクリート殻と大きく5種類に分別している。今後も正確な排出量を把握しながら、削減に努める。 西事業では、ジュースの空き缶を、アルミ・鉄・ペットボトル、その他のごみを燃えるごみ・燃えないごみに分別している。
<u>産業廃棄物の適正管理</u> (目標達成)		
・適正管理の徹底	◎	電子マニフェストを一部併用し、正確な排出量を把握している。
・産廃ボックスの設置	◎	以前から分別しており、状態を把握している。
・保管場所の掲示板を設置	◎	常設箇所は設置済みである。新規受注した現場に産廃ボックスを設置するときも、法に基づき掲示板を設置している。
<u>建設リサイクル率の向上</u> (目標未達成)		
・分別によるリサイクル推進	×	一般廃棄物及び特定建設資材廃棄物の分別を実施しており、リサイクル率の向上を指導している。
・手持ち資材の有効活用	○	使用可能な残材を保存し、創意工夫でそれを活用し建設資材の低減に取り組んでいる。
・仮設資材の再利用の推進	○	原則再利用している。また、在庫資材を仮設材と使用するよう創意工夫を推進している。
<u>混合廃棄物の削減</u> (目標達成)		
・分別の徹底	○	リサイクルできるものを廃棄しないよう推進すると共に、リサイクルの意識向上に努める。
・資材の適切な管理と使用	○	残数量の削減の推進及び残資材の有効利用を考える。資材の在庫管理を明確にする。
<u>水使用量の削減</u> (目標やや達成)		
・節水の周知徹底	○	節水を呼びかけており、適切な使用量の推移となっている。引き続き維持していく。
・節水シールの貼付とポスター掲示	○	節水ステッカー等を掲示している。
・清掃時・手洗い時の節水	△	姫路西事業所の手洗い・トイレは節水型を設置している。本社改修時には順次節水型に取り換えていく予定である。
・漏水の監視	○	漏水が近年に2回あり使用通知書の使用量を漏水の有無に使用し常に監視している。
・工場車両の洗車水の削減	△	今期から工事用車両の洗車は、元請け洗車場が使用できなくなったため、事業所の洗車水の削減を目標にする。
<u>環境配慮した工法の施工</u> (目標達成)		
・工事の創意工夫を実施	◎	工事の創意工夫を実施することで、環境に良い段取り、工法、資材の調達等を実施する。
<u>地域美化活動</u> (目標達成)		
・行政の制度に参加	◎	「ひめじ街路樹アプト制度」「まちかど100mクリーンアクション」に参加し、毎週本社周辺の道路美化活動をし行く。
・業界の活動に参加	○	建設業協会の支部一斉清掃に参加していく。

7. 環境関連法規等の遵守状況の評価の結果

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	遵守する事項	遵守評価
廃棄物処理法	保管基準の遵守、収集運搬・処分業者との適正な契約、マニフェストの交付・保存・確認・交付状況等報告書の提出	遵守
建設リサイクル法	建築物等の分別解体義務、事前届出 特定建設資材廃棄物の再資源化義務	遵守
建設業の再生資源利用 省令	再生資源、建設工事副産物の再利用 再生資源利用計画書、実施記録の作成	遵守
大気汚染防止法	特定粉じん排出等作業の実施の届出（R3/4/1施工期日） a. 事前調査及び調査結果の書面説明 b. 事前調査結果の記録作成・保存（3年）（施工期日R4/4/1） c. 知事への報告 d. 下請負人への説明 e. 事前調査結果の掲示 f. 作業記録の作成・保存（作業終了日から3年）	遵守
自動車NOx・PM法	規制対象車両の登録禁止 規制対象車両の指定地域通行禁止	遵守
騒音規制法	特定建設作業の届出、規制基準の遵守	遵守
振動規制法	特定建設作業の届出、規制基準の遵守	遵守
姫路市公害防止条例	特定建設作業の届出、規制基準の遵守	遵守
オフロード法	基準に適合した特定特殊自動車の使用	遵守
低騒音・低振動型建設 機械の規定	低騒音・低振動型建設機械の使用の促進	遵守
消防法	（防火対象物）防火管理者の届出、消防計画の作成、避難訓練の実施、消火設備・火災警報設備の点検整備、避難設備の維持 （危険物取扱所）設置許可、技術基準の遵守、危険物保安監督者の届出、定期点検の実施と記録の保存	遵守
姫路市火災予防条例	火災発生の恐れのある機器の取扱基準の遵守、指定数量未満の危険物・可燃物の貯蔵の届出及び技術基準の遵守、	実績なし
フロン排出抑制法	フロン類使用機器の定期点検とその記録の3年保存、漏洩防止、廃棄時の適切な処理（フロン回収義務）	遵守

環境法規制等への違反、訴訟、環境上の苦情等は、過去3年間ありませんでした。

8. 代表者による全体の評価と見直し



今期の経営環境は、昨年からの地政学リスク増大による、世界情勢の不穏な中、日本を含む多くの国々が、全面的なインフレ、人員不足局面になっています。特に、我が国においては、今年に入ってから急激な円安、市場全般の物価高、5月の新型コロナウイルス感染の5類への位置付け移行など、非常に厳しく困難な状況でした。そのような環境下、各社員の真摯な仕事により、前年度に引続き堅調な業績を上げています。ただ、環境経営計画から見るとまだ、未達、乖離の項目もあり是正措置が必要です。

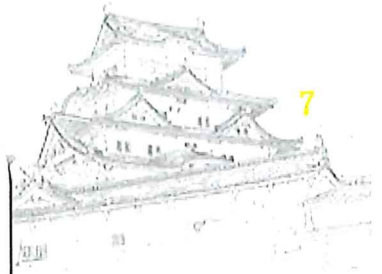
環境問題は、いついかなる時でも、最優先される共有、共通の課題です。我が社においても引続き、今まで以上に実直に取り組んでいく必要があります。

第66期の方針、目標、計画、体制を、より強固にして、引き続き活動しましょう。

2023年 10月 20日

代表取締役 堀江 一雄

9. 環境への取組の紹介



品質・環境方針

1. 顧客の信頼と満足を得て地域に貢献する。
2. 品質活動を通じ、環境取組により環境負荷の低減を推進する。
3. 品質活動と環境活動の有効性の継続的に評価し改善を行う。

2020年9月1日
株式会社ホリエ
代表取締役 堀江 一雄

品質・環境目標

1. 建築部は、創意工夫を行い現場に役立てると共に、環境にやさしい施工を行うことで、二酸化炭素の節減を推進し、目標の利益を達成する。
2. 土木部は、無事故・無災害で顧客の信頼を得ると共に、軽油の使用を管理し二酸化炭素の節減を推進し、目標の利益を達成する。
3. 総務部は、顧客管理を確実にして、その動向を常に把握すると共に、電気の使用を管理し二酸化炭素の節減を推進する。
4. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守する。
5. 廃棄物の削減を推進する。
6. 建設現場等での建設リサイクル、再生資源の利用を推進する。
7. 建設業協会主催の地域美化活動への参画を年1回行う。

2020年9月1日
建築部 部長 改発 義博
土木部 部長 堀江 一雄

節電

省エネ エアコンに取替

2F



3F



自動感知



LED電灯



産廃分別



使用済み
乾電池入れ

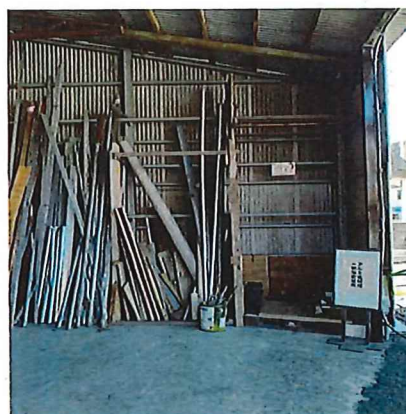
資材区別



節 水



整理整頓



アルミ廃材類
一時保管場所



高圧ガス



整理整頓



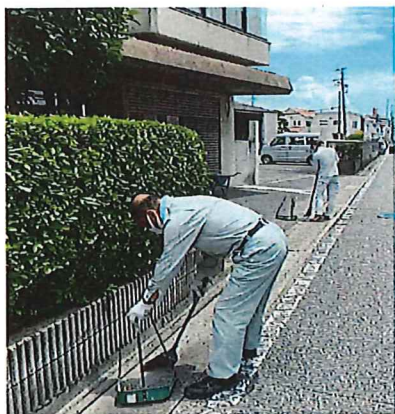
清掃奉仕



継続してます。
 ・ひめじ街路樹アプト制度
 ・まちかど100mクリーンアクション制度



綺麗になりました



教育

全体会議



土木会議

